

自己の能力を高めよう！（検定編）

平成33年度の入試は「高大接続改革」と呼ばれ、大幅に入試制度が変わるのを、皆さん知っていましたか？ まさに現在1年次生がその該当者になるのです。

従来の入試は知識詰め込み型で、どれだけ知識を蓄えているかを問うものが多かったのですが、「高大接続改革」では、知識・技能の習得だけでなく、それらを基にした思考力、判断力、表現力も問われるのです。ですから、従来のマーク式だけであったセンター試験に、国語と数学科目に記述式が導入されます。英語に関しては「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を評価するため、外部テストを高校3年次に受験し、スコアを獲得しておかなければなりません。

更に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度も評価の対象となり可否の判断材料になります。これは、大学に提出する調査書に、高校在学中に、どのような活動をし、どのような成果を上げたか、どのように自己を成長させてきたかを報告する時に活用されます。AO入試や、推薦入試を活用する明輝生にとっては、一番気にかけておかなければならない事項だと思われます。

幸い、本校は総合学科ということもあり、インターンシップを始め、探究活動や年に1回のプレゼンテーションがあり、学校の中で自分の能力を高める機会が多く用意されています。しかし、そればかりではなく、対外的なものにもたくさんチャレンジしてください。例えば多くの学校で実施している検定試験です。以下は参考として本校で実施したことのあるものです。

- 簿記検定試験 ○電卓検定 ○ワープロ検定 ○文書デザイン検定 ○情報処理検定
- プレゼン検定 ○パソコンスピード検定 ○ホームページ検定 ○社会人常識マナー検定
- 日本漢字能力検定 ○実用数学技能検定 ○実用英語技能検定 ○硬筆・毛筆書写検定
- 被服製作技術検定 ○食物調理技術検定 ○数学検定 ○世界遺産検定 ○危険物取扱者

現在本校で実施していないものもありますので、教科の先生に必ず確認してください。

日本は資源の乏しい国です。急速な国際化、情報化の中で、新たな価値や産業を創造していかなければなりません。そのような時代の一員になれるよう、自己を磨く努力をしてください。

自己の能力を高めよう！（模試編）

大学進学を考えている生徒は、積極的に模擬試験を受けましょう！

模擬試験の内容は難しく、進度の関係上、習っていない範囲が出題されるケースもあり、結果が届いて心折れることが多々あるかと思います。

しかし、全国・全道で自分の学力がどの位であるかを確認できます。また、試験という雰囲気にも慣れ、問題傾向も把握することができます。

先にも述べましたが、「高大接続改革」が迫り、模擬試験においても思考力、判断力、表現力を問うものが多くなってきました。今後求められる能力を磨くにはよい機会と思われます。

裏面に今年1年間の模試計画を載せておきました。皆さんに配布した進路資料集P19にも同じものが掲載されています。講座の参加や模擬試験の受験等、どれだけ進路活動に取り組んできたか、校内での推薦選考に少なからず影響があると思われます。進学希望者は、1年間の予定を参考に、計画的に模擬試験にチャレンジすることをお勧めします。